

議 事 録

- 1 会議の名称 令和7年度第2回水戸市地域公共交通協議会全体会議
- 2 開催日時 令和8年3月25日（水） 午前11時00分から午後00時00分まで
- 3 開催場所 水戸市役所4階 政策会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 茨城大学 金 利昭
(名簿順) 鹿島臨海鉄道(株) 下山田 義弘
茨城交通(株) 任田 正史
関東鉄道(株) 生井 一嘉 (代理)
ジェイアールバス関東(株)水戸支店 吉川 央紀
水戸地方ハイヤー連盟 鬼沢 正光
(一社)茨城県バス協会 古賀 重徳
(一社)茨城県ハイヤー・タクシー協会 服部 透
水戸市住みよいまちづくり推進協議会 山崎 次男 (代理)
公募委員 齋藤 勝行
公募委員 大川 泰弘
国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所 若月 健 (代理)
国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 小菅 達也
茨城県政策企画部交通政策課 梅原 尚子 (代理)
茨城県土木部水戸土木事務所 成瀬 真勝
茨城県土木部都市局都市計画課 坂本 一誠 (代理)
茨城県水戸警察署 永山 晃右 (代理)
水戸市市長公室 佐藤 則行
水戸市都市計画部 須藤 文彦 (代理)
茨城交通労働組合 岡山 昌弘 (代理)

※ 代理出席8名、欠席6名

 - (2) 事務局（水戸市市長公室交通政策課）
課長 川上 悟
課長補佐 江幡 将行
係長 鈴木 翔
会計年度職員 柴崎 美博

5 会議次第

(1) 開会

(2) 協議事項

議案第3号 令和8年度予算案

(3) 報告事項

報告第1号 令和7年度バス交通分科会の開催状況について

(4) その他

(5) 閉会

6 配布資料

(1) 会議次第

(2) 議案第3号 令和8年度予算案（資料1）

(3) 報告第1号 令和7年度バス交通分科会の開催状況について（資料2）

(4) 水戸市地域公共交通協議会運営方法周知に係るこれまでの経緯について

(5) 水戸市地域公共交通協議会の運営方法について

(6) 水戸市地域公共交通協議会規約

7 内容

会長 事務局 会長	<p>※水戸市地域公共交通協議会規約第7条第1項に基づき、会長が進行を務めた。</p> <p>1 開 会</p> <p>はじめに、本日の会議の出席者数について、事務局から報告をお願いします。</p> <p>本日の会議には、定数26名中20名の委員の皆様にご出席いただき、出席者数は定数の過半数となっております。</p> <p>ただいま事務局から報告がありましたとおり、出席者数が過半数となっておりますので、規約の規定を満たし、会議は成立するものです。</p> <p>次に、本日の会議につきましては、冒頭から終了時まで公開としたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>[異議なしの声]</p>
-------------------------	--

<p>会長</p>	<p>それでは、公開することといたします。</p> <p>次に、議事録署名人をお二人、委員御本人に御出席いただいている方から指名いたします。今回は、____様及び____様に、お願いいたします。</p> <p>協議事項といたしましては、令和8年度の予算案、それから報告事項がバス交通分科会の開催状況ということで、本年度のやったことを報告してもらいます。</p> <p>会議に入る前に、この協議会の運営の方法について、これまでの経緯について説明してくださいということで、1年前からいろんな事があって、私自身も頭の中が整理できていない部分もあるので、一度その協議会の運営に関して、振り返ってみてどうなっているかを皆さんで確認しましょうということでお願いしています。ですので、そこを冒頭で説明してもらえればと思います。事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>[水戸市地域公共交通協議会運営方法周知に係るこれまでの経緯について及び水戸市地域公共交通協議会の運営方法についての資料に基づき、事務局から説明]</p>
<p>会長</p>	<p>なんで、運営方法をこうしようという資料をお出ししたかというところ、これまで、会議を開いたり開かなかったり、時期がずれていたり、対面協議でやったというようなことで、バラバラだったというところがある。私自身も、どこでどうなっているのか把握し切れていなかったというところもある。一方で、事務局のほうからは、細かいところについては分科会でやったらどうかと、もう少し現場サイドで話をした方が、いろいろ話ができるというような話があった。そのようなことで、運営方法を定めて、もう少しきちっと決めようではないかということで、運営方法の資料ができたということです。何回か私や茨城運輸支局のアドバイスをもらいながら作ったんですけど、私自身も今御説明いただいたところが全部これでうまくいくのかどうか、よく分からないところもある。分科会と協議会をどう接続させていくか、関連させていくかといったところも、これで良いと思っている訳ではない。ただ、私としては、まずは案としてこれでやってみるということで、何か皆さんから御意見があれば変えていけば良いかという受け取り方をしている。この協議会自体は、何度も申し上げてきましたけれども、事業者と市民利用者と行政が十分話し合っ自分たちで決めていく、自分事として公共交通のことを決めていく、そこが一番大事なところだと思う。だから、形式的に報告書を出せばいいということでは決してない。自分たちの公共交通のことをよく話し合っ、それが、今まで事業者はどちらかというところと経営の面もあるし、行政は効率的なところ、市民は言いたいことは言うけど実際乗りもしないようなところがあって、それが今の公共交通のまずいところ。国全体でみんなで自分事として話して自分たちの地域のことを考えてくださいというのが趣</p>

	<p>旨。だから、自分たちで考えたことなら何をやったっていいということ。そのところを頭に置いていただきたい。私自身もこれでいいと確信したわけではないので、その辺を御承知おきいただいて皆さんのほうでもしっかりと一つ一つの言葉を見ていただければと思います。今回は今御説明があったところの3月に相当するということです。よろしいでしょうか。</p>
	<p>2 協議事項</p>
	<p>議案第3号 令和8年度予算案</p>
会長	<p>では、ここから次第に沿って進めていきます。まず、協議事項として、令和8年度の予算案について事務局から説明してください。</p>
事務局	<p>[資料1に基づき、事務局から説明]</p>
会長	<p>事業費が増えているのはなぜですか。</p>
事務局	<p>バスマップの更新の費用です。</p>
会長	<p>会議費が減っているが、協議会が2回、分科会が4回となっている。前年度まではもっと多く取っていたということだと思う。先ほど説明があったような形で協議会2回、分科会4回想定だとこれで十分まかなえるというようなこと。みなさんいかがでしょうか。御質問があればお願いします。</p>
____委員	<p>予算の収入の部ですが、繰越金を科目で設定しないということは、この協議会の予算が水戸市の負担金で成り立っているということで、余った部分が生じた場合は水戸市に返金することとして協議会としては繰り越さないということでよいのかという点が一つ。もう一つは、この予算案が可決された後に収入の部分の款が負担金と諸収入だけになると思うが、可決後は4款と書いてある諸収入が2款に繰り上がるということになるのか、以上2点教えてください。</p>
事務局	<p>ただいまの御質問にお答えいたします。繰越金につきましては、御指摘のとおり、年度が終了し、余った予算は水戸市へ返金となりますので、繰越金は設定しておりません。また、諸収入の款項目でございますが、こちらは協議会の財務規程に款項目の設定がございますので、2の補助金、3の繰越金がなかったとしても番号を繰り上げることは考えておりません。</p>

<p>会長</p>	<p>他に何かございますか。</p> <p>では、予算に関して御説明があつて御審議いただきましたが、御意見がないようでしたらこれでいかがかというところになりますが、この予算で御承認いただけますか。</p> <p>[異議なしの声]</p>
<p>会長</p>	<p>異議なしということで、この予算で承認ということといたします。</p>
<p>3 報告事項</p>	
<p>報告第1号 令和7年度バス交通分科会の開催状況について</p>	
<p>会長</p>	<p>では次に報告事項として、令和7年度バス交通分科会の開催状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>[資料2に基づき、事務局から説明]</p>
<p>会長</p>	<p>以前の協議会でいろいろ御意見をいただいたので、分科会を開いて細かい議論をして、詰めていただいた。それはそれで分科会もいいなと思ひ話を聞いていた。今御出席の皆様で、分科会にも出席されている人もいると思う。公募委員の2人は出席されているかなと思うんですが、事業者は別の担当者が出席ということもあると思う。なので、分科会に出席して様子が分かっている方もいらっしゃるし、出席されてない方もいらっしゃるし、担当者から中身は聞いているという方もいると思う。分科会から半年くらい経っているので、その後、御意見などがあるかもしれないので、短い時間だけでも、御意見、御質問いただければと思う。どなたからでも御意見いただければと思います。</p>
<p>____委員</p>	<p>分科会で大きな案件であった双葉台地区の路線再編ですが、6月の時点ではバスの双葉台五丁目を出発点、終着点としていましたが、バスの待機場所が見つかっていなかったんですけれども、交通政策課さんにいろいろ動いていただいて、おかげさまで待機場所が見つかって、路上駐車にならないような形で4月1日から運行できることとなりました。待機中、時間にして15分程度なんですけど、やはりトイレがあった方がいいので、そこもすぐそばにある市営住宅の一室を、これも交通政策課さんが調整していただいて、一室を借りてそのトイレを使えるようになり4月1日から運行できるようになりました。</p>

会長	それは良かったですね。
___委員	それからもう一点。千波湖西駐車場に4月1日から茨城交通で乗り入れをするんですけども、少し遅れて関東鉄道さんでも乗り入れをすると聞いております。
会長	そのあたり、行政の方でも頑張っていて大変良かったなと思います。事業者さんの方で、別の方が分科会に出ていて、その話を聞くなりして、うまくまわっているんですかね。
___委員	しっかり情報共有しております。
会長	そこができていれば、協議会と分科会で分かれたところでも、接続が出来ていると思う。
___委員	分科会に参加させていただいて、非常に丁寧な対応を感じました。なぜかというところ、双葉台地区のアンケート実施ですが、大塚町が減便になるというのに、アンケートの範囲に入っていなかった。減便になるところの理解がとれないということで、平田先生に改めてアンケートを実施させていただいて助かりました。
会長	分科会で発言する機会があって、それを言ったら対応できたということですね。
___委員	その機会がないと、全く知らない間に大塚町では減便になっていた。それに伴って、赤塚駅から水戸駅での乗り換えの際に初乗り料金になるのかということも聞いたが、電子決済であれば料金が割引になるというのが分かった。バス待ちの時間とか料金が割高になるということはちょっと大塚町地区の人は残念だと思っている。そういう実態が丁寧にやっていただいて分かった。
会長	分科会が意見を吸い上げる機能を果たしているということですね。バスの運行を変えていく、ルートを変える、減便になるという時に、分科会だけではなくて、影響のある人たちの状況を把握しないといけないということですね。よく間違えるのは、要望が出たから変えます、という風に出てくるのだが、変える時はマイナスの影響が出てくる場所がある。そのところを忘れる時が間々ある。今の場合だと、減便になる地区に対して対応をどうするのか、皆さんどう思っているかを調べないといけない。言い過ぎかもしれないが、その人たちの意見を吸い上げていなかったというのがおかしいと私は思う。ただ、勘違いしないように言っておくと、減便するのがサービスを受けていた利用者にマイナスに

<p>____委員</p>	<p>なるからできないということではない。むしろ、他から比べてみれば今までが過剰なサービスだった。全体から考えてみれば少しサービスを落として我慢してもらわないとおかしいということもある。そこは丁寧に説明して御理解いただいて進めていく。そういうことが分科会を通してできたということですね。</p> <p>バスの乗り方教室に係る委員提案について、提案をさせていただいた。協議会で話をさせていただいたことを行政で動いていただき、分科会の中でも御報告、御意見や課題が出てきたことについても話してもらったところ。紙面にもあるように、課題についてはいろいろ見えてきているということで、課題が改善でき次第、また改めて実施に向けて検討していきたいということで、前向きに考えていただいているのかなというところでは、大変ありがたく思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。では、全体を通して御意見や、今説明をいただいたバスに関わる中身でもいいですし、分科会との関係ということも含めて、どういうことでも結構ですので、何かありましたらご発言ください。</p> <p>[意見無し]</p>
<p>会長</p>	<p>では、分科会はこういう風に進んでいるということをお承知おきください。</p> <p>4 その他</p>
<p>会長</p>	<p>最後に皆様の方から何か情報提供や報告がありましたら、御発言いただければと思います。</p>
<p>____委員</p>	<p>国の方から皆さんに県内の事情などを知ってもらいたい良い機会と思ったので、参考までに話をさせていただきたいと思っている。県内のバス事業者やタクシー事業者は運転手不足がかなり顕著になっているところがありまして、地域によっては減便や路線を廃止をすとか、タクシー事業者が畳んでしまうという現状があちこちで見られる。運輸支局としても様々な意見をいただいているところではありますが、全国的に人口減があるなかで、今までどおり路線を維持することが困難になってきているというところが私どもも理解しているところ。バス事業者もタクシー事業者も、社内の中で様々な取組をして改善に向けてやっていたらと思うところと認識しているところがございます。そういった中で、つくば市でも路線を維持することが困難になってきている。なぜつくば市を例にさせてもらうかということ、水戸市に次いで第二の都市ということで参考に言わせてもらうのですが、そういったところでも減便や廃線を今後検討しなければ</p>

	<p>ばならないような地域もあるという中で、一方で県西地区であるとか鹿行地区でも減便や廃線が徐々に出てくるんだらうと思っている。水戸市内の部分に関しても一部減便をされているような状況がある。このような中で、この交通会議の場で減便に向け路線再編というような話が出てくるのが想定されますので、皆様にも御理解いただきながら進めていただくのが一番良いのかなと思ひ参考に話をさせていただきました。</p> <p>もう一つ、最近だと海外の戦争の状況などもあり、燃油高騰なども今後出てくる可能性があるのでは、そうしますとやはりバス、タクシー事業者は今以上に支出の部分が大きく出てくることもありますので、今後またそういうことも絡めて路線の見直しであるとか、タクシー車両の台数の見直しなども図られていくのではないかなといったところも皆様に御承知おきいただければなと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ドライバー不足を言われると、減便になったときに事業者に対してそれはないだろうやめてくれ、なんとかしろと言うのも筋違いだし、行政の方になんとかしてくれと泣きついてはどうしようもないのが今の状況だというようなところもあって、しょうがない。そしたら、しょうがないからマイカーで行くかとなったら、マイカーの燃油が高くなっており踏んだり蹴ったりというところなんだけれども、どうすればいいのか、どう考えればいいのか。</p>
<p>____委員</p>	<p>国側としては、利用者の皆様にも一定程度の御負担していただくということ、少しずつ浸透を図っていくことも必要ではないかなと思っております、結果的にはこういったバス事業者、タクシー事業者におかれましても経営が不振になってきている事業者もいらっしゃるし、そこで自治体に対して、県にたいして、国に対して補助金を出してほしいという相談はいただいているところもあるのですが、やはり、国、県、自治体においても予算の都合もあつたりするので、そういったところで捻出ができないというところもあるので、そういう中では、一定程度、バス路線、タクシーを維持していくためには、多少の賃金の値上げもやむを得ないというようなところを御理解していただくことも私は必要かと思っています。では、そのやり方に関してどうやっていくかというようなところは、正直我々国側も模索しているところはあるのですが、考え方としては一定程度の部分の御理解いただくことは重要かと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>出口というか、じゃあどうするといったところが中々出てこない問題なんですけれども、そういった中で、目をつぶっていてもしょうがないので、今小菅さんの方からこういう厳しい状況を分かった上で、皆で考えて行きましょうというようなことがあったということなので、そここのところは頭に置いておいていただきたいというように思います。私の方から二つ申し上げますと、一つは、減</p>

<p>____委員</p>	<p>便になったといった時に、優先順位というか、ここはしょうがないから減らそうとか、我慢するとかいうことがあった時に、ここは最後まで残さなければいけないよというような、優先順位という考えはあるのか。</p> <p>実際には乗車人員が少なく、不採算性の高い、要は赤字の多いところから事業者としては考えていきます。</p>
<p>会長</p>	<p>行政側の方だけれども、今は量の話なのだけれども、それだけじゃないかなと思うのだけれど、優先順位というか、守らなくてはいけない公共交通バスの対象とする人たちの優先順位、量はないかもしれないけれど、でもこの人たち運行をやめたらどうしようないんだというようなのはあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、経営のお話をされていましたが、我々行政としては代替がきかない方、特に子どもの通学や車が運転できない方は守る対象だと考えています。バス事業者も公共交通事業者として、当然、それを意識された上でのダイヤ編成をいただいているところをごさいますて、例えば減便も結局は利用の少ない昼の時間帯、そういうところを中心に手を付けていただいているところです。</p>
<p>会長</p>	<p>今の議論のところ、優先順位について、表面的に言われているところもあるのだけれども、そのところを少し考えていかなければならないというような時期に来ているのかもしれない。もう少し明確にそこは量は少ないけれども守りましょうというようなところがあるのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回、分科会報告の中で双葉台の再編について御報告させていただいたところですが、こちらはODデータを活用しながら、なるべく利用者に負担のかからない方策を、裏を取りながらやっていたりとか、先ほど運転手不足の話が出ましたが、組み替えることで運転手の数が減らせるような取組も進めております。また、双葉台地区はかつて多くのバス会社がしのぎを削っていたところをごさいますて、非常にバスの行き先表示が複雑になっていたところをより分かりやすくして、利用促進に資するような分かりやすいバス路線に再編したというところをごさいます。</p>
<p>会長</p>	<p>もう一点は、補助金の話で、ガソリンが高くなっているから補助を出すということを国も言っているのだけれども、バスの運行のために出すというのなら分かるのだけれども、マイカーガソリンに対して出すのは違うのではないかなというように私は思う。そんなことしたって一時的なものだし、それだったら脱クルマを進めるために、公共交通の方に補助金を出すとか、それから、自転車の施策を進めるために補助金を出すとかの形にして、むしろマイカーを今まで通りど</p>

	<p> んどん使ってくれとしてマイカーを使いすぎているからおかしくなっている。 この機会にそれをやめる様に持っていくべき。オイルショックの時には国一丸 となってやっていたから、日本の車にしる製品にしるが世界一になった。ガソリ ンが上がったから補助金を出すというのは方向が間違っていると私は思います けどね。 最後は少し厳しい話になりましたけれども、あと何か御意見ありましたらお 願いします。 [意見無し] それでは今日の会議は終了したいと思います。事務局にお返しします。 </p>
会長	
事務局	<p> 会議の進行ありがとうございました。以上をもちまして、令和7年度第2回水 戸市地域公共交通協議会全体会を閉会いたします。 </p>